

1. 教育計画

基礎看護学

分野	専門分野Ⅰ 基礎看護学	科目名	基礎看護技術Ⅶ (診療に伴う援助技術 2)
単位・時間	1 単位・15 時間(授業 14 時間)	対象学年	2 年生
方法	講義、演習	時期	後期
講師名(担当時間数)	安全確保の技術、侵襲的処置の介助技術 治療処置の介助技術・・・専任教員 高宮 仁美 (10 時間) 治療処置の介助技術・・・法人講師 椎根 寿子 (2 時間) 死の看取りの技術・・・法人講師 五十嵐 久美子 (2 時間)		
講師の実務経験	看護師として星総合病院に 10 年 4 ヶ月		
学習目標	診療に伴う基本的な知識と援助技術を学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験 *授業での提出物・演習態度も評価に加味します。		
使用テキスト*購入	医学書院 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メディックメディア 看護技術がみえる②臨床看護技術		
履修上の留意	*演習で実習室使用時は原則白衣着用となります。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	担当	備考
1	2	安全確保の技術	1. 誤薬防止 2. チューブ類の予定外抜去防止 3. 患者誤認防止 4. 転倒転落防止 5. 薬剤(抗癌剤)暴露の防止	講義 GW	高宮	
2	2	侵襲的処置の介助技術	1. 穿刺の介助 2. 洗浄の介助	講義	高宮	
3	2	無菌操作	1. 無菌操作の基礎知識 2. 無菌操作・滅菌手袋装着の実際	演習 実習室	高宮	
4	4	治療・処置	導尿の実際	演習 実習室	高宮	
5						
6	2	侵襲的処置の介助技術	自己血糖採血の実際	演習 実習室	外部 講師	

回	時間	主題	授業内容	形態	担当	備考
7	2	死の看取りの技術	1. 死の看取りの基礎技術 2. 臨終の見まもりと死後のケア	講義	外部講師	
8	2	評価	筆記試験		高宮	